

参考資料

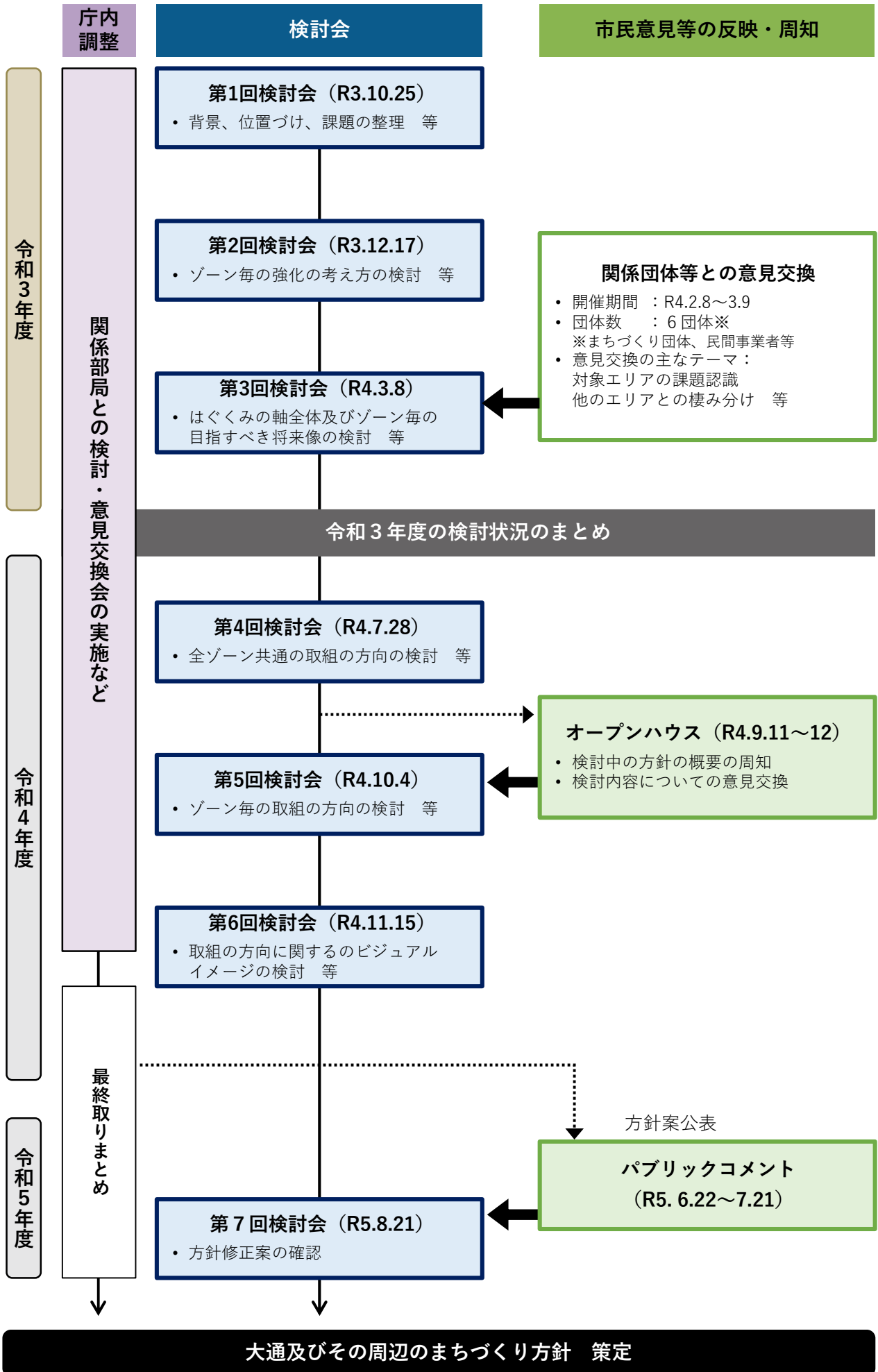
本方針の策定にあたっては、専門知識を有する委員から構成される「はぐくみの軸強化方針検討会」を設置し、方針の内容について検討を進めました。

また、関係団体等との意見交換やオープンハウス、パブリックコメントの実施により、多様な意見を伺い方針に反映させました。

(1) はぐくみの軸強化方針検討会委員

	分野	氏名（敬称略）	所属
検討会委員	みどり	愛甲 哲也	北海道大学大学院農学研究院 准教授
	景観・地域 まちづくり	石塚 雅明	株式会社石塚計画デザイン事務所 顧問
	都市開発	門田 高朋（第1回～第3回） 大谷 英基（第4回～第7回）	独立行政法人都市再生機構東日本都市再生本部 北海道まちづくり支援事務所 所長
	都市計画・景観	岡本 浩一	北海学園大学工学部 教授
	交通	高野 伸栄	北海道大学大学院工学研究院 教授
	都市計画・観光	西山 徳明	北海道大学観光学高等研究センター 教授
	経済	藤井 将博	札幌商工会議所住宅・不動産部会副部会長 （株式会社藤井ビル 代表取締役）
	都市計画	村木 美貴 【座長】	千葉大学大学院工学研究院 教授
	景観	森 朋子	札幌市立大学デザイン学部 准教授

(2) 方針策定過程



1. 開催概要

① イベント名

オープンハウス³⁹

『大通沿道のまちづくりと都心のみどりづくり』

② 開催目的

- ・ 検討中の方針の概要を市民の皆様知ってもらうこと
- ・ 来場した方にご意見をいただき方針に反映させること

③ 開催時期

- ・ 令和4年（2022年）9月11日（日）11:00～17:00
- 12日（月）11:00～19:00 の2日間

④ 会場

札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）内
北大通交差点広場（西）

⑤ 実施概要

検討中の方針に関するパネルを展示し、「はぐくみの軸12の将来像」については共感する項目へのシール投票を行いました。また、まちづくり等に関する意見を旗に見立てた付箋に記載して頂き、大通周辺の大判マップに置くことで、意見の内容と対象となるエリアの可視化を試みました。

※本方針との関係が深く、連携・整合を図ることとしている「札幌市都心のみどりづくり方針」に関するパネル展示・意見収集も併せて実施

⑥ 来場者数

420名（二日間合計）

■ 案内ポスター



■ 当日の様子



■ 展示パネル

大通沿道のまちづくり方針

札幌市では、都心の重要なまちづくりの基軸である「大通」に関してその沿道のまちづくりの方針を作成中です。この方針を「はぐくみの軸強化方針」と名付け、令和4年度の策定を目指しています。

今回のオープンハウスでは、**・検討中の方針の概要を皆様にご覧いただくこと**
・皆様にご意見をいただき方針に反映させることを目的としています。

ご意見・ご質問は、お近くのスタッフまでお気軽にお寄せください。

担当：札幌市まちづくり政策局都心まちづくり推進室 011-211-2692

はぐくみの軸ってなに？

都心のまちづくりの重要な「骨格軸」のひとつです

都心は札幌市の中心であり、市民生活の中心地として重要な役割を果たしています。この都心のまちづくりの重要な「骨格軸」のひとつとして、大通沿道のまちづくりの方針を作成しています。

「はぐくみの軸」は、大通沿道のまちづくりの重要な「骨格軸」のひとつとして、大通沿道のまちづくりの方針を作成しています。

札幌市資料館から豊平川辺りまでを東西に貫くエリアを指しています

東西約2.5km、南北約3.0kmのエリアです（※東は札幌駅1号線までのエリアを指します）。

札幌の発展を支えてきた象徴的な通りです

時代に合わせたさまざまな街並みの発展を支えてきました。

まちづくりや社会の動き

沿道に建替え時期を迎えた建物が多くあります

沿道には多くの建物が建替え時期を迎えています。建物の建て替えは、まちの景観を刷新し、新たな魅力を創出する重要な機会です。

人口減少・少子高齢化が進みます

人口減少と少子高齢化が進む中で、まちの活力を維持し、持続可能なまちづくりを進める必要があります。

まちの居心地の良さが求められています

まちの居心地の良さを求める声が増えています。快適な交通環境、美しい景観、安全なまちづくりを進める必要があります。

脱炭素の取組の推進や災害に強いまちづくりが求められています

脱炭素社会の実現と災害に強いまちづくりを進める必要があります。環境に優しいまちづくりと防災対策を進める必要があります。

今後も、まちづくりや社会の動きに対応しながら大通の魅力を活かした取組を進めることが必要です

方針で目指すもの

策定の目的

- 大通公園等の地域特性を活かした沿道のまちづくりを促進
- 次の100年に向け札幌市民が世界に誇れる魅力と活力にあふれる札幌都心の実現

重視する視点

- 市民の愛着の醸成と魅力の発信
- より快適で豊かな暮らし
- 持続可能なまちづくり

まちづくりの理念

150年間で「はぐくまれてきた大通の価値を再認識し」
100年先の未来を「はぐくむ」

将来像の設定と取組の方向の整理

- 市民、事業者と共有する「12の将来像」を設定
- 将来像を実現するための「取組の方向」を整理

はぐくみの軸12の将来像

まちづくりのビジョンを具現化し、市民、事業者と共有する「12の将来像」を設定します。

- 【象徴性】** 大通が持つ札幌市の象徴性が継承されている
- 【創造性】** 大通ならではの文化・魅力・活力が育ち、世界から投資や人材が呼び込まれている
- 【ライフスタイル】** 大衆らしい魅力あるライフスタイルが国内外に認識されている
- 【まちづくり】** 時代の流れに柔軟に対応した官民協働のまちづくりが進められている
- 【ユニバーサル】** 大通公園や沿道の公共的空間などが全ての年代にとって居心地の良い場として親しまれている
- 【健康的な暮らし】** 住む人も人の心の健康を醸成させる環境が整っている

「はぐくみの軸12の将来像」の共感できる項目に一人3つまで投票をして頂きました。

結果は次のページの通りとなりました。

- 市民の愛着の醸成と魅力の発信に関する将来像
- より快適で豊かな暮らしに関する将来像
- 持続可能なまちづくりに関する将来像
- 居心地がよく歩きたくなるまち
- 快適な交通環境
- 都市の景観
- みどり
- 脱炭素化
- 防災

将来像の実現に向けて

エリア特性に応じたまちづくりを進めます

大通公園や沿道の公共的空間などを活用し、まちづくりを進めます。

市民・事業者と協働でまちづくりを進めます

市民と事業者が協力してまちづくりを進めます。

「はぐくみの軸12の将来像」の共感できる項目に一人3つまで投票をして頂きました。結果は次のページの通りとなりました。

2. 将来像に対する意見

■「はぐくみの軸12の将来像」に対する投票結果

1日目

2日目

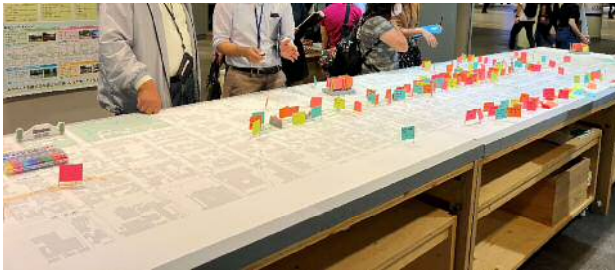


■得票数のまとめ

はぐくみの軸12の将来像 ※オープンハウス開催時の案	一日目	二日目	合計
①【象徴性】 大通がもつ札幌都心の象徴性が継承されている	62	82	144
②【創造性】 大通ならではの文化・魅力・活力が育ち 世界から投資や人材を呼び込んでいる	30	36	66
③【ライフスタイル】 大通らしい魅力あるライフスタイルが 国内外に認識されている	46	57	103
④【まちづくり】 時代の流れに柔軟に対応した 官民協働のまちづくりが進められている	24	23	47
⑤【ユニバーサル】 大通公園や沿道の公共的空間などが 全ての人々にとって居心地の良い場として親しまれている	66	65	131
⑥【健康的な暮らし】 訪れる人の心身の健康を増進させる環境が整っている	30	23	53
⑦【居心地がよく歩きたくなるまち】 大通沿道の一体的な空間を 安全・快適に楽しく回遊できる	71	99	170
⑧【快適な交通環境】 東西に長い大通を快適・円滑に移動することができる	41	52	93
⑨【都市の景観】 大通の資源を活かした はぐくみの軸ならではの景観が形成されている	39	34	73
⑩【みどり】 大通公園を中心に 連続的にみどりの空間が形成されている	72	82	154
⑪【脱炭素化】 2050年のゼロカーボン都市の実現に向けた 先進的な取組が進められている	29	22	51
⑫【防災】 大通の防災機能が強化されている	48	43	91

3. 寄せられた意見の一部

■意見を書いた旗を立てた大判マップ



■オープンハウス終了時の大判マップ（真上から撮影したもの）



西Cゾーン周辺

- ✎ お弁当を食べたり休憩できるスペースがあると良い
- ✎ 子どもたちと過ごせる空間や、街中でピクニックができるエリアがあったらいい
- ✎ 静かな雰囲気がよい
- ✎ バラの花壇や札幌市資料館はもっとたくさんの人に来てもらいたい
- ✎ 札幌市資料館の窓から見る大通公園の紅葉が最高

など

東ゾーン周辺

- ✎ 歩ける空間に座れる椅子がいっぱいほしい
- ✎ 歩道橋がなくても通れるようにしてほしい
- ✎ 明るい空間にして歩きやすくしてほしい
- ✎ 地上、地下にみどころがほしい
- ✎ 地下鉄バスセンター前駅からサッポロファクトリーまで地下通路で繋げてほしい
- ✎ 東側にもお店を作って、東8丁目まで賑やかになり、地上を歩く人が増えてほしい

など

西Bゾーン周辺

- ✎ 沿道ビルから大通公園を眺めるスポットがほしい
- ✎ 大通公園沿道にテラスのあるレストランを作してほしい
- ✎ 道庁から大通公園までの動線を自然にしてほしい
- ✎ 体が不自由でも動きやすい環境にしてほしい
- ✎ 公園で静かに過ごせるようにイベントと棲み分けてほしい
- ✎ イベント時公園内が通りにくいので歩道が広い方がいい
- ✎ 子供が遊べて芝生やベンチで飲食しやすい環境にしてほしい

など

西Aゾーン周辺

- ✎ 地下と地上にお店がいろいろある通りがあり、それらがこれからも楽しいものであってほしい
- ✎ 時計台の周囲にもっと緑が増えてほしい
- ✎ 今あるライラックや花などの緑を今後も大切にしてほしい
- ✎ エレベーターを増やしてほしい
- ✎ 東1丁目まで大通公園が広がってほしい
- ✎ 飲食や勉強・ワーク作業ができるテーブルと椅子がほしい
- ✎ イベント時に休めるところを増やしてほしい
- ✎ 大きなイベントだけでなく市民が気軽に使えるイベントもほしい

など

特定のエリアに係らない意見

- ✎ 一年を通して散歩等で歩きやすい空間になってほしい
- ✎ ユニバーサルスタイルのまちづくりに力を入れてほしい。
- ✎ 半屋外空間屋根のあるスペースがあってもいい

など

1 意見募集概要

(1) 意見募集期間

令和5年(2023年)6月22日(木)～7月21日(金)(30日間)

(2) 意見募集方法

ホームページ意見募集フォーム、持参、郵送、ファックス、電子メール

(3) 資料配布・閲覧場所

○札幌市役所本庁舎5階 まちづくり政策局都心まちづくり推進室

2階 市政刊行物コーナー

1階 ロビーパンフレット台

○各区役所総務企画課広聴係

○各まちづくりセンター(桑園、大通・西、本府・中央、東北・東、苗穂)

2 意見の内訳

(1) 意見提出者数及び意見提出件数

○意見提出者数 6人

○意見提出件数 29件

方針案の項目	意見数	割合
第1章 目的と位置づけ	1	3.4%
第2章 はぐくみの軸を取り巻く現状・課題	10	34.5%
第3章 はぐくみの軸全体の強化方針	0	0.0%
第4章 ゾーン別の強化方針	7	24.1%
第5章 重点的に進める取組	9	31.0%
第6章 取組の推進にあたって	2	6.9%
参考資料 オープンハウス開催概要	0	0.0%
合計	29	100.0%

※方針案と直接の関係がないご意見(他事業へのご意見等)については、非公開

(2) 意見の概要と札幌市の考え方

第1章 目的と位置づけ

意見番号	該当ページ	意見の概要	札幌市の考え方
1	4	<p>「100年先の未来を見据え、今後20年間で実現したい将来像」とあるが、「実現可能性の高い内容」や「現時点で考えられる内容」に限定されており、夢のある未来に感じない。</p> <p>例えば、景観としても重要なテレビ塔の将来像について、100年先の未来を見据えて、将来に検討していく事項として言及しても良いと感じた。</p>	<p>本方針では、まちづくりの理念で「象徴性の継承」に合わせ「新たな価値の創造」も掲げており、官民連携により、方針の実現に向けた新たな取組を推進していきたいと考えております。</p> <p>なお、本方針はまちづくりの考え方を示すものであり、個別の施設の計画までは記載しておりませんが、さっぽろテレビ塔の価値の維持・向上が図られることは、まちづくりの観点からも重要と考えていることから、68ページ「1) 大通・創世交流拠点における象徴的空間の創出」などにさっぽろテレビ塔の記載を加えました。今後、さっぽろテレビ塔等との連携を考慮した「象徴的空間の創出」に取り組んでいきたいと考えております。</p>

第2章はぐくみの軸を取り巻く現状・課題

意見番号	該当ページ	意見の概要	札幌市の考え方
2	8	<p>まちのリニューアルとあるが、老朽化対策や使いやすくする等は必要だが、札幌市資料館等、リニューアルをしない方が良いものもある。</p>	<p>札幌市資料館等の歴史的資源は大通及びその周辺の象徴性を形成する重要な要素と考えております。</p> <p>そのような価値ある資源を継承しながら、新たな価値を生み出していくことを目指し、まちづくりの理念を「象徴性の継承と新たな価値の創造」と設定しております。</p>
3	9	<p>「保育施設の増加」が示されているが、何故このデータが示されたのかがわかりにくい。</p> <p>東ゾーンについては、将来的にどういう機能を確保したいかが、読み進めてもあまり見えてこない。</p> <p>共同住宅のエリアをもう少し集約したいとか、商業施設を増やしたいなどの機能面での取組目標があるのであれば、それに関連するデータを示す方が有効ではないかと思う。</p>	<p>本方針の第2章では、現状と課題を示しており、ご指摘の箇所は大通周辺建物の機能分布に変化が生じていることを示したものになります。</p> <p>本方針では、このような時代の変化に柔軟に対応しながら、新たな価値を創造し続け、札幌市民が世界に誇れる、魅力と活力にあふれる都心の実現に寄与すること等を策定の目的としております。</p>
4	10	<p>電気の無駄づかいであるため、札幌ホワイト・イルミネーションは廃止してほしい。</p>	<p>本方針は大通及びその周辺のまちづくりの方向性を示す方針として取りまとめているため、具体の施策につきましては今後、個別に検討してまいります。</p> <p>大通公園の在り方の検討につきましては、本方針の内容も踏まえながら、頂戴したご意見も参考に今後検討してまいります。</p>

(2) 意見の概要と札幌市の考え方

意見 番号	該当 ページ	意見の概要	札幌市の考え方
5	10	食べもののイベントが大通公園にありすぎると思う。	本方針は大通及びその周辺のまちづくりの方向性を示す方針として取りまとめているため、具体の施策につきましては今後、個別に検討してまいります。大通公園の在り方の検討につきましては、本方針の内容も踏まえながら、頂戴したご意見も参考に今後検討してまいります。
6	10	西B・Cゾーンは地下歩行ネットワークがなく、東ゾーンについても隣接する施設への接続が進んでいないことから、西Aゾーン以外は「回遊性が高い」とは言えない。	対象エリア内には、地上には大通公園、地下には東西方向に地下鉄コンコースやさっぽろ地下街「オーロラタウン」、南北方向に札幌駅前通地下歩行空間やさっぽろ地下街「ポールタウン」があり、地上・地下の回遊性が高いエリアであると考えております。このような意図が伝わりやすくなるよう、10ページ「4) 地上・地下の回遊性」、36ページ「将来像⑤ユニバーサルなまち」の記載を修正します。
7	14	景観については、西ABCゾーンが景観計画重点区域となっているが、大通公園周辺の再開発で議論になる高さ規制がなされるべきなのか、景観に配慮しながらも効率性や利便性を追求していくのかについて、方向性を示しても良いのではないかと感じた。	都心においては、札幌の最も中心的な拠点として都市機能の集積を図ることが重要であることから、札幌市では、都心の中で特に高度利用を図るべき容積率600%以上のエリアでは、高さ制限を定めておりません。一方で、大通公園と沿道建物との景観的調和は重要な課題と認識しております。このことから、大通の沿道で高さ制限のない区域では、新たに高さ制限を定めるのではなく、大通公園や隣接建物との連携・調和を意識して建物の配置や意匠等を工夫することを通じて、はぐくみの軸ならでの景観形成を目指していきたいと考えております。このような意図が伝わりやすくなるよう、38ページ「将来像⑨資源を活かした景観」に「健全な高度利用と良好な景観形成の両立」を図る旨の記載を加えております。
8	14	東ゾーンの景観についてはどのように取り扱っていくのか。軸が豊平川まで伸びているため、シンボルとなるテレビ塔、豊平川との接続地点、大通の沿道において形成する景観等について、何か言及されていても良いように感じた。	第5章で「大通公園東側の新たなオープンスペースの創出」「創成川より西側のにぎわいを東側まで波及させる連続性ある空間の形成」を重点的に進める取組として位置付けており、これらのオープンスペース創出と合わせて、大通沿道の街並みとの調和を考慮した一体感のある景観形成を図ってまいります。

(2) 意見の概要と札幌市の考え方

意見番号	該当ページ	意見の概要	札幌市の考え方
9	16	自動車交通量の減少傾向の理由は、郊外型のショッピングモールの建設により、買い物客の行き先が都心部から離れたことなども一因としてあると思われるのですが、都心部の再開発が進み、集客施設が充実することで今後の都心回帰も予想されるのではないかと。また、積雪期の渋滞の状況なども把握する必要があるように感じた。	札幌市では、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりを進めており、具体的な施策を検討する段階では、ご意見のとおり、交通量の動向や積雪期の渋滞の状況の把握なども行いながら検討を進める必要があると認識しております。
10	26	エリアマネジメント活動の展開について、どのように本方針が関わっていくのかが見えない。	時代の流れに柔軟に対応した市民・企業・行政などの協働によるまちづくりを進める必要があると考えており、新たなエリアマネジメント団体の組成や、地区ごとのまちづくりルール策定などの、地域主体のまちづくり活動を促進してまいります。
11	27	人を中心とした安全で快適な交通環境を形成、自転車利用環境の創出、総合的な駐輪対策の推進等があるが、具体性に欠ける。自転車通行帯を設け、自転車と電動キックボードを走行させ、車道の境界をポール等で区切ることで、自動車の入り込みや路上駐車を削減できる。	本方針は大通及びその周辺のまちづくりの方向性を示す方針として取りまとめているため、具体の施策につきましては今後、個別に検討してまいります。東西に長いはぐくみの軸を円滑に移動することができる環境作り等に向け、頂戴したご意見も参考に今後検討してまいります。

第4章 ゾーン別の強化方針

意見番号	該当ページ	意見の概要	札幌市の考え方
12	44～55	大通公園はバリアフリー化されていないと感じるため、障がい者トイレを増やしてほしい。	本方針は大通及びその周辺のまちづくりの方向性を示す方針として取りまとめているため、具体の施策につきましては今後、個別に検討してまいります。大通公園の在り方の検討につきましては、本方針の内容も踏まえながら、頂戴したご意見も参考に今後検討してまいります。
13	48～55	大通公園は、公園機能だけではなく、道路通路でもあるため、9丁目と10丁目、11丁目と12丁目を繋げないでほしい。車道と歩道を現状のまま確保してほしい。	本方針は大通及びその周辺のまちづくりの方向性を示す方針として取りまとめているため、具体の施策につきましては今後、個別に検討してまいります。大通公園の在り方の検討につきましては、本方針の内容も踏まえながら、頂戴したご意見も参考に今後検討してまいります。

(2) 意見の概要と札幌市の考え方

意見番号	該当ページ	意見の概要	札幌市の考え方
14	57	<p>「東4丁目通の整備により、地域内の南北の歩行環境の向上が図られる予定である」との記述があるが、クランク解消だけではなく、今回の計画の対象範囲である大通～北一条通間についても整備を行い、歩行環境の向上を図る予定か。</p> <p>歩行環境の向上のために、現在の4車線道路を2車線に減少させる計画か。今後の当地区での交流人口の増加を想定した時に、車道（車線数）の不足がないかを検証する必要がある。</p>	<p>東4丁目通の整備は、創成東地区まちづくりの基軸にふさわしい空間形成、及び、安全・安心で快適な歩行空間を実現するために、クランク区間の解消するとともに、車道を2車線に減少させた上で歩道の拡幅を行うものです。対象区間は大通から北5条までの区間であるため、大通～北一条間についても整備を行います。</p> <p>車線数の減少については、将来交通量を推計し、交通への影響を検証した上で実施を決定しております。</p>
15	57	<p>ゾーン特性に「豊平川において、河川区域の利活用を目指した市民による取組が進められている」とあるが、今後、豊平川においてもはぐくみの軸と関連性のある取組を展開する予定か。</p>	<p>すでに市民により豊平川河川敷を活用したにぎわいづくりなどの取組が行われており、このような取組を支援しながら、今後、はぐくみの軸の強化に向け、官民協働で取り組んでまいります</p>
16	57	<p>都心まちづくり計画には「東西市街地の連続性の強化と既存地下通路の充実による地上地下の歩行者ネットワークの形成」</p> <p>「地下鉄駅を中心とした回遊の結節機能の向上」「安全安心な移動環境の創出」「中央体育館跡地並びに周辺の有効利用の検討」などが取組として示されていたのに対し、本方針ではこのことに触れていない。触れたうえでどのように展開するかを整理する必要がある。</p>	<p>本方針は第二次都心まちづくり計画を上位計画として定めるものであり、63ページ「将来像⑦居心地がよくあるきたくなるまち」、64ページ「将来像⑧円滑な移動環境」、65ページ「将来像⑩連続的につながるみどり」等の「取組の方向」や「主な取組例」に、ご指摘の取組について記載しています。</p> <p>なお、中央体育館跡地に関しては関連した記載が抜けていたため、61ページ「将来像②創造と交流の好循環」及び66ページ「将来像⑪脱炭素化の推進」の「主な取組例」に追記いたします。</p>
17	57	<p>主な課題として挙げられている項目が、「遊びに利用できるスペースが十分ではない」「駐車場の出入口が沿道に多数存在している」などであり、「都心創成川東部地区地区計画」</p> <p>(R4.7.25変更)に記載される地域計画の目標とは方向性が大きく異なるように見受けられる。ここに記載される課題や目標を当計画にも反映させて、目標達成に向けた取組の推進につなげていくべき。</p>	<p>本方針はすでに決定されている地区計画の内容も踏まえながら、ゾーン毎に「主な課題」や「強化の考え方」、「将来像と取組の方向」を記載しております。</p>

(2) 意見の概要と札幌市の考え方

第5章 重点的に進める取組

意見番号	該当ページ	意見の概要	札幌市の考え方
18	59	東ゾーンの範囲は東2丁目より東側であるように図示されているが、「大通公園、創成川公園の連続したみどりを創成川より東側まで波及させる連続性のある空間の創出」は、この東2丁目より東側においてもみどりの連続性のある空間を創出されることを検討しているのか。東1丁目の事業のことを指すのであれば、例示すべきではない。	大通公園、創成川公園の連続したみどりを創成川より東側まで波及させる連続性のある空間の創出は、東2丁目以东においても推進していきたいと考えております。
19	67	環境保護にもつながるため、路上駐車や車を減らす方策を示すべき。	大通での路上駐車は、ご指摘の観点のほか、街区・道路・公園の一体的な活用等の観点でも課題と考えております。具体の施策については、今後検討してまいります。
20	67	ゴミが落ちているなど利用客のマナーが悪い。	本方針は大通及びその周辺のまちづくりの方向性を示す方針として取りまとめているため、具体の施策につきましては今後、個別に検討してまいります。大通公園の在り方の検討につきましては、本方針の内容も踏まえながら、頂戴したご意見も参考に今後検討してまいります。
21	68	象徴的空間の創出について、過去の検討会の中で、オープンスペースの連続性を創出し、沿道のビルのにぎわいを取り込む方法として、地下のオープンスペースである「サンクン広場」が提案されていたが、100年先を見据えた象徴的な空間の創出という観点から有効であるため、今後の検討に加えた方がよい。	大通・創世交流拠点における象徴的空間の創出に向けては、当面の取組として掲げた、大通公園東側や、大通公園と札幌市時計台をつなぐオープンスペースの創出に当たり、検討会におけるご意見も参考に検討を進めていきます。
22	69	過去の検討会の中で、大通公園の東西の連続性を妨げているものが「階段状になっているテレビ塔の基壇部」という意見もあり、基壇部の解消が空間的に連続するために有効であるため、100年先を見据えた象徴的な空間形成にとって、テレビ塔の建替えも検討に値すると考える。	本方針はまちづくりの考え方を示すものであり、個別の施設の計画までは記載しておりませんが、テレビ塔の価値の維持・向上が図られることは、まちづくりの観点からも重要と考えており、68ページ「1) 大通・創世交流拠点における象徴的空間の創出」などにさっぽろテレビ塔の記載を加えました。今後、さっぽろテレビ塔等との連携を考慮した「象徴的空間の創出」に取り組んでいきたいと考えております。

(2) 意見の概要と札幌市の考え方

意見 番号	該当 ページ	意見の概要	札幌市の考え方
23	69	<p>「西側の活力を東ゾーンへつなげ、さらには豊平川まで引き込んでいくことが課題となっています」とあるが、中央小学校から東側については、現状では再開発の余地が少ないため、西側の活力を豊平川まで引き込むことは現実的とは思えない。</p> <p>低未利用地の多い東5丁目までを特に重点的に施策を進めていくエリアとして、土地の高度利用、多様な機能が複合化した質の高い複合市街地の形成を目指すべき。</p> <p>市民等と協働でまちづくりを進め、地区計画を実現するためには、エリアを広げすぎず、土地所有者に対して方針、計画とともに何を行うべきかをわかりやすく示していくことが重要。</p>	<p>創成川より西側の活力を東ゾーンへつなげ、さらには豊平川まで引き込んでいくことが望ましいと考えており、個別の開発の機会を捉えるほか、地域と連携した道路空間の利活用や、地域主体のまちづくり活動によるにぎわい創出などに取り組んでいきたいと考えております。</p>
24	69	<p>大通公園を中心とした東西方向へのまちづくりの波及を進めるため、分断要素となっている創成川に、たとえば、ペDESTリアンデッキや人が集まれるような新たなオープンスペースの設置等について検討すべき。</p>	<p>本方針は大通及びその周辺のまちづくりの方向性を示す方針として取りまとめているため、具体の施策につきましては今後、個別に検討してまいります。大通・創世交流拠点における象徴的空間の創出や、創成川より西側のにぎわいを東側まで波及させる連続性のある空間の形成については、頂戴したご意見も参考に検討してまいります。</p>
25	69	<p>地下鉄大通駅と地下鉄バスセンター前駅をつなぐ地下通路について、途中で地上へ上がるためのエレベーターが少ない。</p> <p>バリアフリーの観点からも重要なため、対応について検討すべき。</p>	<p>ご指摘のとおり、地上と地下の移動経路のバリアフリー化は重要であると認識しているため、将来像の一つに「ユニバーサルなまち」を掲げております。今後、建替などに合わせて、エレベーターの設置も含めた地上と地下の往来時の利便性の向上に取り組んでまいります。</p>
26	69	<p>創成川の西側は土日の道路渋滞が顕著であるため、創成川の東側に駐車場を整備し、渋滞解消につなげていくというアイデアもあると思った。</p>	<p>本方針は大通及びその周辺のまちづくりの方向性を示す方針として取りまとめているため、具体の施策につきましては今後、個別に検討してまいります。今後、都心全体の交通量も考慮しながら、頂戴したご意見も参考に検討してまいります。</p>

(2) 意見の概要と札幌市の考え方

意見番号	該当ページ	意見の概要	札幌市の考え方
27	70	<p>自転車・自動二輪車の駐輪対策と景観を両立させた取組として以下の内容を要望する。</p> <p>①既存の大通公園西5・6丁目の駐輪場のような、整然と区切られている駐輪場を拡充する。</p> <p>②自動二輪車(全排気量対応)の駐輪場を同様に公園内・周辺部に整備する。</p> <p>③短時間無料などの柔軟な料金体系によって利用率を向上させ、公園利用の好循環を創出する。</p>	<p>本方針は大通及びその周辺のまちづくりの方向性を示す方針として取りまとめているため、具体の施策につきましては今後、個別に検討してまいります。今後、周辺街区と連携した放置自転車対策の推進などについて、頂戴したご意見も参考に検討してまいります。</p>
28	71	<p>地域の取組の連鎖を進めるために、東ゾーンにおいても土地所有者等に何を求めるのかを、本方針に明確に示すことが重要。</p>	<p>本方針の実現に当たっては、土地所有者等のみならず方針に沿ったまちづくりを協働で進めて行く必要があることから、札幌市では、本方針の周知啓発を積極的に図るとともに、東ゾーンの皆さまも含め、まちづくり勉強会などの地域主体の取組に積極的に参加してまいります。</p>

第6章 取組の推進にあたって

意見番号	該当ページ	意見の概要	札幌市の考え方
29	74	<p>所有建築の建替えを検討しており、本方針との整合を図りながら、公益性のスペース等をうまく活用し、容積率の緩和につなげたいと考えているため、事業者側への支援も検討してほしい。</p>	<p>本方針の将来像に実現に当たっては、公共的空間を屋内外で創出していくことが重要と考えております。今後、頂戴したご意見も参考にしながら、容積率緩和などを含む開発支援策について、適切に見直しを行ってまいります。</p>

大通及びその周辺のまちづくり方針 ー札幌都心はぐくみの軸強化方針ー

発行 : 令和5年(2023年)10月
企画・編集 : 札幌市まちづくり政策局政策企画部
都心まちづくり推進室都心まちづくり課
住所 : 〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目
電話 : 011-211-2692 FAX : 011-218-5112
E-MAIL : ki.downtown@city.Sapporo.jp
URL : <https://www.city.sapporo.jp/kikaku/downtown/plan/hagukumi.html>



さっぽろ市
01-602-23-2063
R5-1-142

はぐくみの軸強化方針

検索